

大河原町 大河原町立大河原南小学校「『南小オヤジの会』による防災キャンプ」

○市町名 大河原町

○学校名 大河原町立大河原南小学校

○期 日 令和6年10月5日(土)~6日(日)

○内 容

「南小オヤジの会」主催の防災キャンプ

- ・大規模災害の発生でライフラインが途絶えても生き抜く力を身に付けるため、避難所生活の疑似体験を行う。

○講 師

南小オヤジの会

会 長 泉 信行 氏

副会長 渡邊 正恭 氏

山家 剣 氏

平間 晃 氏

佐藤 義則 氏



○南小オヤジの会の活動概要・設立の趣旨

令和2年7月16日設立 現会員17名

設立の趣旨 大河原町立大河原南小学校の児童に多種多様な経験をさせ児童の成長の一助となることを目的とする。また、会員の親睦も目的とする。

年間活動 防災キャンプ、南小 PTA 活動への参加、学校運営協議会への会長参加、総会、懇親会、町公園サポーターとして年5回の公園の除草活動

○児童の声

- ・はじめは難しいと思っていましたが、誰でも気軽に体験できるものでした。竹で食器を作るなどのいろいろな体験はとても楽しかったです。(6年女子)



- ・どのくらいの降水量で家の一階まで浸かるのかということや、非常食が約5年ももつことが分かりました。いろいろ初めて分かったことがあって楽しかったです。来年は手伝いに来たいです。(6年女子)



- ・最初はちゃんとできるかなと不安でした。でも、友達やスタッフの方、先輩方から優しく「こうやるんだよ」と教えてもらったので、しっかり体験ができとても楽しかったです。(6年女子)



・防災キャンプでは、いろいろな体験をしました。特に楽しかったのは、ドラム缶風呂です。自分たちのちょうどいい温度に調節して入るのが楽しかったです。（6年女子）

・竹の食器作りなど、最初は「難しい、絶対できない」と思っていたけれど、楽しいし意外と簡単だなと思いました。作った食器を使って、夜ご飯はピザやラーメンを食べました。とても楽しい体験ができました。（6年女子）



○講師から

会長 泉 信行 氏

子供たちに生きる力を身に付けてもらいたい！こんな時どうすれば良いか…を考えてもらいたいですね。地域として関わることで、子供たちとの繋がりを持てることを、これからも大事にしていきたいです。

平間 晃 氏

日頃から地域の人たちと関係を密にし、自主的に活動できる人材が多い地域は「災害に強い地域」です。南小オヤジの会主催「防災キャンプ」で、そのような人材を小学校6年生から育てたいと思います。

佐藤 義則 氏

この防災キャンプは、町の指定避難所になっている南小学校に泊まり避難所体験をしてもらいたい、との思いで行っております。また、授業でできないことをオヤジたちの技術を生かし体験してもらえよう工夫して実施しております。



○教職員の声

竹で食器を作ったり、ドラム缶のお風呂に入ったりと、普段はできないような貴重な体験をすることができていました。楽しみながら災害について知り、防災への意識を高めることができていたので良かったと思います。

（6学年担任）

○教育事務所から

地域の子供たちのために主体的に活動を展開する会の皆様の思いが、着実に子供たちの心に響いていました。この活動に魅力を感じた卒業生が支援者として加わる姿もすばらしいです。多世代交流がさらに広がり、大人も子供も笑顔あふれる活動が数多く実践させることを期待します。